あなたはねらわれている！

毎日の生活を私たちは、無事に暮らしたいと思っていますが、危険との「ニアミス」を体験している人も多いのではないでしょうか?

犯罪は、巧みな方法で近寄ってきます。例えば、詐欺など一度は未然に防げても、二度目は大丈夫とは言えません。犯罪やトラブルに巻き込まれないためには、どうしたらいいのでしょう。

今号では、東入間警察署と富士見市役所消費生活相談にお話を伺いました。（各犯罪の認知件数は、警察署のデータです）

ひったくり

平成26年1月～5月
富士見市内での認知件数
2件

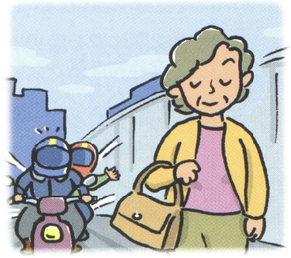
富士見市内では、以前に比べるとひったくりの発生件数は減っていますが、近隣市町では増加しているので注意が必要です。被害者は、ほぼ女性が100%。帰宅時間の午後7時から夜間にかけてが多く、イヤホンやスマートフォンなどを使って周囲への注意がおろそかになっていると狙われやすいです。

また、バイクを使っての犯罪が多くなっています。

被害にあわないために！

- 遠回りでも人通りが多く、歩車分離の道を通る。
- イヤホンや携帯・スマートフォンをしながら歩かない。
- 自転車のかごには、防犯カバーを付ける。なければ雑誌や新聞紙を置くだけでも有効。
- バイクや自転車の音がしたら、振り返る。
- カバンは、車道と反対側にしっかり持つ。
- 万一に備え、通報できるようにバッグと携帯電話は別々に持つ。

※携帯電話には、ワンタッチブザーの機能がついているものがあります。



訪問販売

9年前、市内の認知症の高齢者姉妹に対する床下換気扇工事の事件があったことは記憶に新しいところです。強引な布団や学習教材の勧誘も対象になります。

環境や健康問題に関心を持っている方が多くなっている中で、最近は、太陽光発電システムや健康食品に関するトラブルも多くなってきています。

被害にあわないために！

- 販売員が訪ねて来ても簡単に戸を開けない。
- はっきり断る。長時間居すわられたら警察に電話も。
- 契約してしまっても一定期間内ならば自由に契約を解除できるクーリング・オフ制度があります。あきらめずに相談を！

詐欺

平成26年1月～5月
富士見市内での認知件数
2件

「会社のお金を失くした」「女性を妊娠させた」などご近所にはしられたくないような電話が息子と名乗る男性からかかってきたら…。誰もが私は騙されないと思っていても、いざとなると息子と思い込んで現金を渡してしまおうとする。こんな話が身近なところで起きています。健康食品の送り付け商法も増えています。

詐欺ではありませんが、親が知らないうちに子どもがスマートフォンでゲームをしていて、35万円の請求が来て初めて分かったという事例もありました。要注意です。

被害にあわないために！

- あわてないで時間をおき、絶対一人で行動しないで、必ず誰かに相談する。
- 「必ずもうかる」「あなただけに」等の甘い話はありません。在宅中でも留守番電話に設定しておくのが効果抜群！
- 家族しか分からない呼び方を決めておく。
- 覚えのない請求メールは、無視する。

空き巣

平成26年1月～5月
富士見市内での認知件数
9件

空き巣は、夜中の忍び込みもありますが、外出時に鍵をかけ忘れたドアや窓からも侵入します。

住宅の裏側からが多く、特に風呂場など柵があるからと鍵をかけずにいたり、開けっ放しにしておくと、空き巣は柵を外して入ってきます。

被害にあわないために！

- 見せる防犯が大事。空き巣は、防犯意識が低い家を狙う。センサー付きライトをつける、強化ガラスを使用する、家の裏側に回る道には、鎖やひもを張る、防犯砂利を敷く等が有効。
- 侵入の足場となるものを家の周りに置かない。
- 空き巣は、5～10分で仕事を終わらせる。万が一、空き巣と鉢合わせしてしまったら逃げて、直ぐに110番通報を！

自転車盗難

犯罪件数で一番多いのが自転車盗難です。自宅にとめている時に盗まれてしまった経験をお持ちの方もいらっしゃるでしょう。

被害にあわないために！

- 「ちょっとだけなら」は危険。わずかな時間でも鍵はかける。
- 路上駐輪は狙われやすい。駐輪場にきちんと止める。
- 二重ロックにする。
- 自宅に置いている時でも必ず鍵をかける。

平成26年1月～5月
富士見市内での認知件数
145件

不安になったらすぐ相談

警察総合相談窓口　TEL#9110
富士見市役所消費生活相談
TEL 049－252－7181